

数学の課題 ♪



組 番 名前

目 次

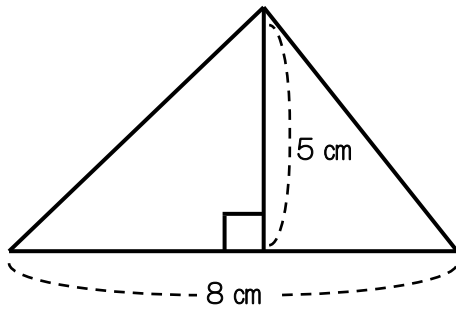
- 新1年生 算数の力試しテスト 問題用紙
- 4月に学習する予定の「1章 正負の数」の予習をしよう！
- オマケ おうちでやってみよう！数学トランプゲーム

算数の内容が数学にもつながってきます。算数の内容をしっかり復習をしておきましょう。また、学校が再開したら教科書8ページからの正負の数（せいふのすう）を学んでいきます。1章の内容を予習しておく、授業がスムーズに理解できると思いますので、予習にも取り組んでいきましょう。みなさんと楽しく授業ができる日を楽しみに待っています。

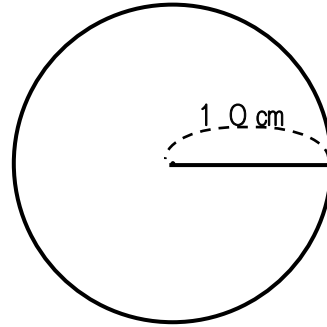
数学科 高橋 みなみ

4, つぎの図形の面積を求めなさい。円周率は3.14とする。

(1)

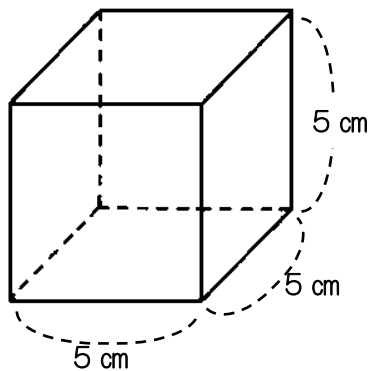


(2)

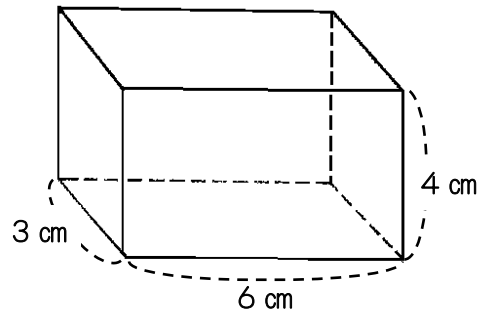


5, つぎの立体の体積を求めなさい。

(1)



(2)



6, つぎの問に答えなさい。

(1) 縦の長さや横の長さの比が、3:5 の長方形があります。縦の長さが9 cmのとき、横の長さは何cmか、求めなさい。

(2) 1400 円の商品を買うときの、消費税(8%)はいくらか、求めなさい。

(3) y が x に比例するとき、次の表の空らんにあてはまる数をすべて求めなさい。

x	1	2	3	...	—
y	5	10	—	...	35

(4) 90 kmの道のりを、自転車で時速 15 kmの速さで走ったとき、何時間かかるか、求めなさい。

4月に学習する予定の「1章 正負（せいふ）の数」の予習をしよう！

教科書 P8～ を見て、数学の言葉や数学の表し方を覚えていきましょう！（^^）

○四角にあてはまる言葉を書きましょう。



左の図の 気温では、 0°C を基準にして、それより低い温度は、 $-$ を使って表す。

たとえば、 0°C より 3°C 低い温度を -3°C とし、「マイナス 3°C 」と読む。これに対して、 0°C より高い温度は、 $+5^{\circ}\text{C}$ のように、 $+$ をつけて書くことがある。 $+5^{\circ}\text{C}$ は「プラス 5°C 」と読む。

$+$ や $-$ をこのように使うとき

$+$ を , $-$ を

という。

$+5$ や $+8$ のような数を といい、 -3 や -5.5 のような数を という。 0 は正でも負でもない数である。

$+5$ や $+8$ は、前から知っていた数 5 や 8 と同じ数である。

これからは、数といえば、負の数をふくめて考える。

たとえば、整数には、正の整数、 0 、負の整数がある。

正の整数を ともいう。

○みんなの身の周りがある $+$ （プラス）と $-$ （マイナス）・・・どんなものがあるだろう？
思いつくものを下の四角の中に3つ以上書いてみよう！たくさん見つけられたらすごい！

例：温度（ -3°C （マイナス 3°C ）

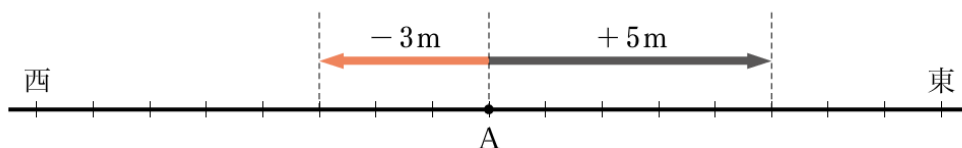
練習1 十、一の符号を使って、次の温度を表しなさい。例：0℃より2℃低い温度

- ① 0℃より6.5℃低い温度 ② 0℃より7℃高い温度 ③ 0℃より8℃低い温度

☆ 反対の性質をもつ量は、正の数、負の数を使って表すことができる。

・四角にあてはまる言葉を書きましょう。

地点Aから東へ5m移動することを
+5mと表すことにすれば、
Aから西へ3m移動することは、
-3mと表される。



- このとき、+2mは Aから へ m移動することを表している。
 +8mは Aから へ m移動することを表している。
 -6mは Aから へ m移動することを表している。
 -7mは Aから へ m移動することを表している。

練習2 現在より2時間後のことを+2時間と表すことにすれば、-3時間はどんなことを表していますか。

練習3 右の表は、ある年の各都市の桜の開花日を表したものです。

平年値を基準にして、それより遅いことを正の数、早いことを負の数で表すことにすると、札幌市の開花日は、平年値より10日遅いから、+10日と表されます。福岡市、大阪市、横浜市、弘前市についても正の数、負の数を使って右の表の四角の中に書き表そう。

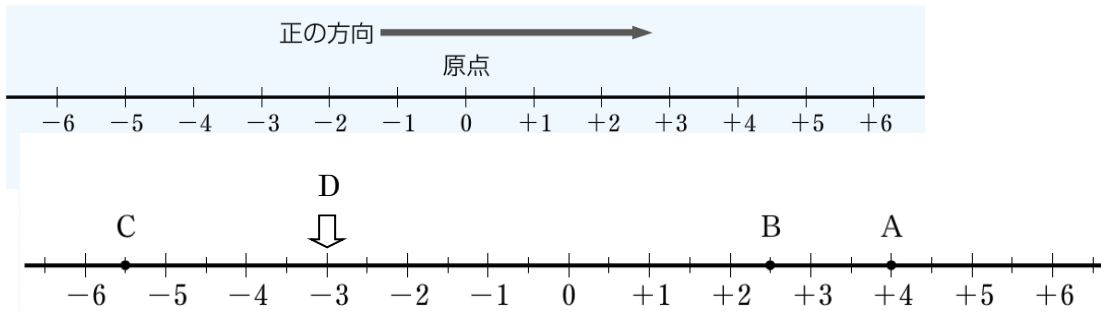
	平年値	開花日	
ふくおか 福岡市	3/23	3/13	<input type="text"/>
ひろしま 広島市	3/27	3/22	-5日
おおさか 大阪市	3/28	3/21	<input type="text"/>
横浜市	3/26	3/18	<input type="text"/>
ひろさき 弘前市	4/23	4/28	<input type="text"/>
札幌市	5/3	5/13	+10日

☆負の数をふくめた数直線をつくってみよう！

数直線上で 0 が対応している点を という。

数直線の右の方向を

左の方向を という。



たしかめ

① 上の数直線で、点 A, B, C に対応する数をいいなさい。

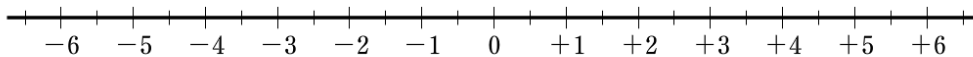
A・・・ B・・・ C・・・

例 D・・・

たしかめ

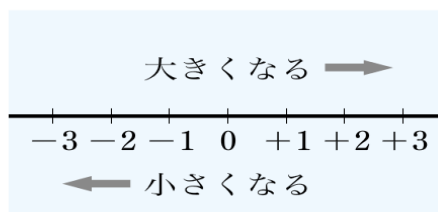
② 下の数直線上に、次の数に対応する点をしるしなさい。

- (1) +3 (2) -2 (3) +4.5 (4) $-\frac{1}{2}$

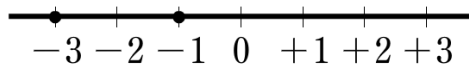


☆数直線を使って、数の大小を考えてみよう

正の数の範囲では、数直線上で にある数ほど大きい。0 と負の数をふくめた数直線上でも、 にある数ほど大きく、 にある数ほど小さい。



例 1 -1 と -3 の大小



数直線上で、 -1 は -3 より右にあるから、
 -1 のほうが大きい。



$-3 < -1$ または $-1 > -3$

どちらの表し方でも意味は同じです。

例 2 次の各組の数の大小を、不等号を使って表しなさい。

(1) $-2, -3$

答

$-2 > -3$ または $-3 < -2$

大きい順、または小さい順に並べましょう！

(2) $0, +1, -2$

$-2 < 0 < +1$ または $+1 > 0 > -2$

問 1 次の各組の数の大小を、不等号を使って表しなさい。

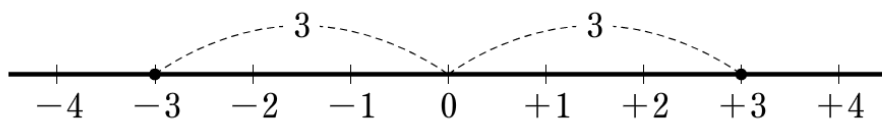
(1) $-3, +5$

(2) $-4, +3, -1$

答

答

数直線上で、ある数に対応する点と原点との距離を、その数の という。
 たとえば、 $+3$ は原点から 3 の距離にあるから、 $+3$ の絶対値は 3 である。 -3 も原点から 3 の距離にあるから、 -3 の絶対値も 3 である。
 0 の絶対値は 0 である。



たしかめ

4 次の数の絶対値をいいなさい。

(1) $+8$

(2) -10

(3) $+2.5$

(4) $-\frac{1}{3}$

答

答

答

答

・このプリントはおまけです。やらなくてもOKです。息抜きをしたいときや課題が全て終わってしまった人は取り組んでみてくださいね。

おうちでやってみよう！ 数学 ☆トランプゲーム☆

☆正負の数（正の数（プラスの数）、負の数（マイナスの数））の足し算の練習になります。家族で集まったらやってみよう☆

用意するもの・・・トランプの一部の札

3人の場合は1～3の札 4人の場合は1～4の札 5人の場合は1～5の札・・・という感じに増やしていく。慣れてきたら枚数を増やしてもOKです。



- ① カードをよくきり、配る
- ② 黒札はプラスの得点 赤札はマイナスの得点とする。（例：赤のハートの3・・・-3点）
- ③ 「ばばぬき」のように1人1枚ずつ札を交換する。
- ④ 1周まわった後・・・自分の札の得点が一番高いと思った人が「ストップ」と言う。1周まわった後ならいつ言ってもOKです。
- ⑤ ストップがかかったら手札を見せ合い、得点を下の得点表に記入する。
- ⑥ ただし・・・ストップをかけた人が1位ではなかった場合は最下位の点数の人と得点を入れ替える。
- ⑦ 縦の合計点数が0になるかどうか確認する。

名前	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	横合計点数	順位
縦合計点数							

縦合計は毎回0になるはずですよ！！
ならなかったら誰かがまちがえて・・・